

郷土摂津 いにしえ通信

第99号



平成18年7月1日

発行
摂津市教育委員会 生涯学習部
生涯学習スポーツ課
〒566 - 8555 摂津市三島一丁目1 - 1
(06)6383 - 1111 (072)638 - 0007
ホームページアドレス
<http://www.city.settsu.osaka.jp/>



ふるさとの川「淀川」

～川は流れる悠久の歴史の中で～

人類が出現する以前の原始・古代・
中近世から現代まで時代別に淀川
と摂津市の関わりに迫ります。

第16回

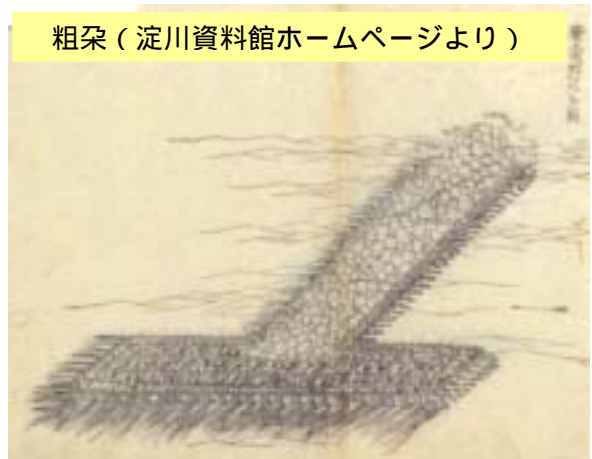
河川行政の転換 明治時代の洪水の頻発は、幕末以来、治水が不充分であったことに大きな原因がありました。明治前期の河川行政は、治水よりも舟運を重視していました。明治元年11月、洪水の直後に北司農局に設置された治河使にしても、洪水によって堆積した土砂を浚渫して舟運を確保すること、あるいは、大阪開港にともなう築港を主目的としていました。7年から20年余にわたって実施された淀川改修工事にしても、デ・レーケをはじめとする御雇外国人の指導によるオランダ式低水工事でした。

低水工事は、洪水を防ぐために堤防を重視する高水工事に対して、土砂の堆積を除いて一定の水深を保つことを主眼とするもので、舟運の確保のためのものでした。もっとも、デ・レーケが治水をないがしろにしていた訳ではありません。治山を含む治水にそれなりの努力をし、むしろ着手以来わずか8、9年で旧幕末時代に匹敵する顕著な成果を挙げていました。財政難のために治水を後まわしにした政府の政策に問題がありました。しかし、明治中期の洪水頻発の中で、河川行政への不満がたかまってくると、やがてそれはオランダ工法への批判として彼に集中しました。半生の努力に報われることなく、彼は34年に悄然として故国に去るのですが、今なお、この地域の水利担当者の間には、ケレブ（粗朶）というオランダ語が遺されています。

治水の要求が強まってくる明治中期になると、政府の河川行政も舟運から治水へと転換します。その背景には、沿岸郡村の改修運動がありますが、同時に、鉄道の発達によって舟運の必要が減じたことも影響しています。しかも、洪水の除去は、富国策からいっても重要な課題でした。ただ、明治政府は強兵策を先行させなければならず、13年には、かえって、土木費を地方費に転嫁してしまったのです。しかし、資本主義の成立をみた明治中期になれば、ようやく治水問題に政府も関心を示すようになりました。

ちょうどそのころ、かつて政府が、御雇外国人としてオランダ人技術者を登用するとともに、日本人技術者を養成するためヨーロッパ諸国に派遣していた留学生が帰国し、活躍しはじめていました。河川行政の転換は、これら新進の技術者に依存しながら行われることになりました。フランスに留学した古市公威・沖野忠雄や、ドイツに留学した田辺義三郎などがその代表ですが、とくに沖野は、第五区土木監督署長として、明治の後半22年にわたって在阪し、淀川治水を担当しました。（つづく）

粗朶（淀川資料館ホームページより）





第52回 埋もれた摂津市の歴史 千里丘遺跡群発掘調査



発掘調査で明らかになる埋もれた
摂津市の古代に光を当てます。

今回紹介します調査地は JR 千里丘駅西口前に位置します。調査の原因は都市計画道路千里丘三島線道路改良工事にともない、線路をくぐって千里丘駅東口と西口を結ぶ小坪井架道橋の拡幅工事です。これまで周辺地域では、平成 9 年より試掘調査や立会調査が実施され、千里丘 2 丁目所在遺跡などの周知の埋蔵文化財包蔵地の発見がありました。これらの既往の調査を踏まえて平成 17 年 7 月 21 日と 22 日に大阪府茨木土木事務所の依頼を受けて、大阪府教育委員会により試掘・確認調査が実施されました。

調査は事業予定内に 6 か所のトレンチ（幅 1 m・長さ 3 ~ 5 m）を掘り実施されました。そのうち 4 箇所では最近の耕作土も残らないほど削平されていました。整地層に大阪層群の一部と見られる青灰色粘土層（地山）が検出され遺構・遺物も見られませんでした。しかし 2 箇所のトレンチでは中世期の遺構・遺物が確認されました。ここでは旧耕作土も残存しその下に青灰色粘土層があり、直径 25 cm の円形土坑が 2 つ検出されました。さらに下層には土師器（はじき）瓦器（がき）小片を含む遺物包含層が残存していました。周辺地域の地形からこの 2 箇所の地点は南北方向の谷部分の北側に相当することから前述の 4 箇所とは違い、削平を免れたものと思われます。これらの所見から茨木土木事務所より遺跡発見の届出が行なわれ、残存していたトレンチ 2 箇所を中心に約 200 m²（8 m × 25 m）の範囲で全面発掘が実施されました。次号にて詳細を報告します。



7月開催

ふるさと摂津講座

摂津市とゆかりのあるテーマを選択し、古代からちょっと昔まで、摂津市の歴史を楽しく学習する講座です。講師はいずれもふるさと摂津案内人が努めます。

受講に際しては、申込みは必要ありません。
直接会場へお越しください。

と き：平成 18 年 7 月 19 日（水）
午後 2 時 ~ 4 時
ところ：ふれあいルーム 第 3 会議室
内 容：淀川筋の治水 高上 慶美 氏